

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年10月19日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第41週 2016年 10月 10日 ～

2016年 10月 16日

設置定点数 48 ケ所

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ					2			1		3						1				1		1								

報告定点数 31 ケ所

小児科

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	7	1	2	1	6	1	4	17	8	47	7	10	12	11	5							1		1
咽頭結膜熱		1			1			2	1	5					3			1			1			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	2			1		4		11	21					2		3	2	6	2	1	4	1	
感染性胃腸炎	4	3	3	8	18	5	23	48	16	128	3	6	13	11	11	9	13	8	7	10	8	13	1	15
水痘	1	1				2	2	2	1	9			1		2	2				2			1	1
手足口病	1	2		1	3		4	2		13		2	4	2		2	1		1			1		
伝染性紅斑		1								1											1			
突発性発疹	1	1			1		1	1	3	8		5	2			1								
百日咳																								
ヘルパンギーナ	4		1		2			2	1	10			5		3			2						
流行性耳下腺炎	18	1	5	4	5	6	11	6	4	60				5	6	7	11	9	7	7	5	3		

報告定点数 10 ケ所

眼科

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎					1					1															1				

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○ヒトメタニューモウイルス感染症2例:0～4歳男女(6101)
東灘区○マイコプラズマ肺炎1例:5～9歳男(6101)
灘 区○マイコプラズマ感染症2例:5～9歳女、10代女(6202)
中央区○アデノウイルス感染症1例:0～4歳男(6301)
北 区○病原性大腸菌感染症1例:0～4歳女(6505)
垂水区○アデノウイルス感染症1例:20代女(6802)
垂水区○マイコプラズマ感染症1例:性別・年齢不詳(6804)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は8人(うち潜在性結核感染症6人)です。

【市内の感染症の状況】

＜RSウイルス感染症が流行しています＞

乳幼児の肺炎及び気管支炎の重要な原因となっていて、
特に心肺等に基礎疾患があると重症化しやすいといわれています。
乳幼児が呼吸器症状を示した場合は早めに医療機関受診しましょう。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

今週、HIVの報告が2例ありました。国内における平成27年の報告数は1,006例(男性948例・女性58例)で、平成19年以降1,000例以上の報告が続いています。主な感染経路は性行為で、同性間の性的接触が691例(68.7%)と最も多いですが、異性間性的接触による感染も増加傾向にあります。また、近年20～30代の感染者が増加しています。HIVに感染すると徐々に免疫が低下して、数か月～十数年の無症候期を経て、日和見感染症や悪性腫瘍が生じてきます。神戸市では毎週水曜日の夜間(18:00～20:00)に三宮センタープラザ西館にてHIVの無料・匿名検査(予約不要)を実施しています。即日検査もあります。詳細は市HPでご確認ください。

[性感染症・HIV啓発冊子「知ってこ、ホンマのこと\(2016年度版\)」※クリックするとダウンロードできます。](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年10月19日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 日本紅斑熱)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	90代	2015年10月13日	2015年10月13日	2016年10月6日	/	抗体価測定 (I F法)	発熱・刺し口 発疹・肝機能異常	不明	

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	80代	2016年10月3日	2016年10月3日	2016年10月3日	肺炎型	尿中病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱・咳嗽 呼吸困難・肺炎 左胸痛	不明	
男	60代	2016年10月9日	2016年10月12日	2016年10月13日	肺炎型	尿中病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱・咳嗽 呼吸困難・下痢 意識障害・肺炎	不明	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 後天性免疫不全症候群)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	20代	/	2016年10月5日	2016年10月12日	無症候性キャリア	PA法 Western Blot法	/	同性間性的接触	
男	20代	/	2016年10月5日	2016年10月12日	無症候性キャリア	PA法 Western Blot法	/	同性間性的接触	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 ウィルス性肝炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	20代	2016年10月5日	2016年10月8日	2016年10月8日	B型	血清でのIgM HBc抗体の検出	全身倦怠感 肝機能異常	異性間性的接触	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0～4歳	2016年10月15日	2016年10月15日	2016年10月16日	/	臨床症状	発熱・嘔吐 意識障害	飛沫感染	
男	30代	2016年9月	2016年10月12日	2016年10月13日	病原体不明	臨床症状	発熱、頭痛、 頭部硬直、 意識障害、 髄液細胞数の上昇	不明	

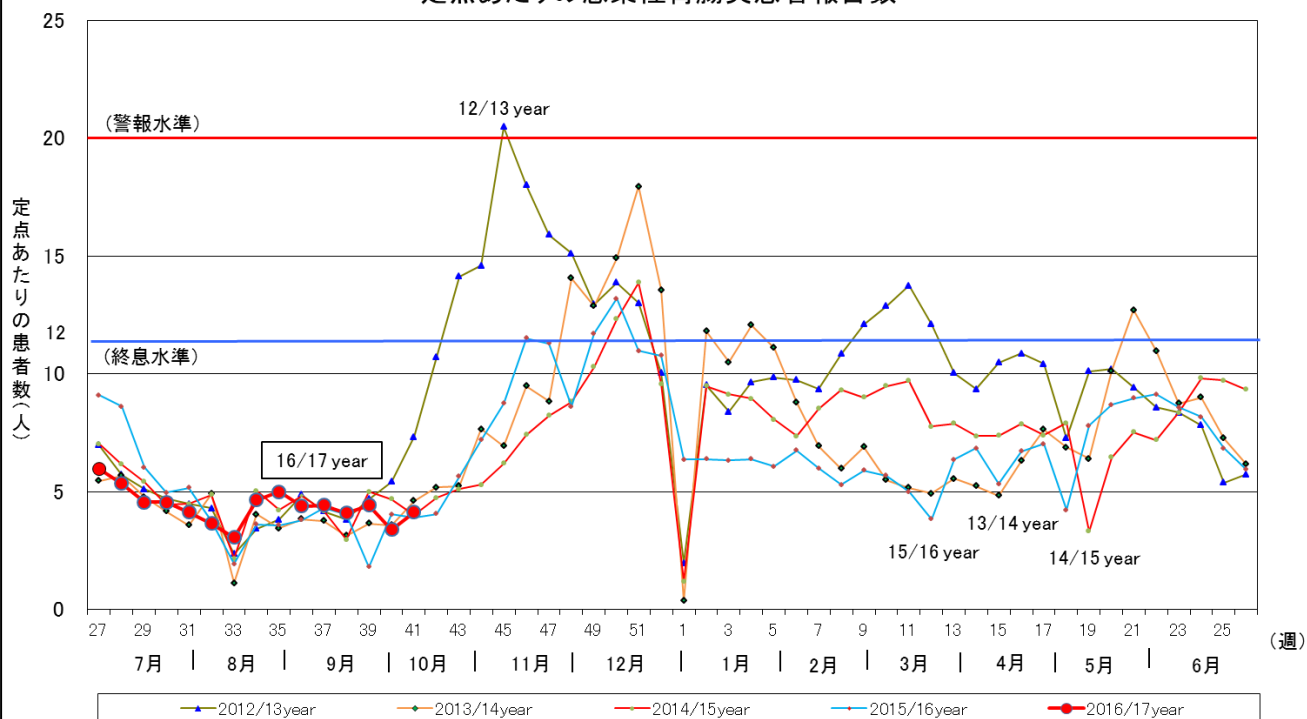
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2016年9月6日	2016年9月6日	2016年9月29日	早期顕症梅毒Ⅰ期	RPRカードテスト TPHA法	初期硬結	異性間性的接触	
女	20代	/	2016年10月4日	2016年10月8日	無症候性キャリア	自動化法 TPHA法	/	異性間性的接触	
男	30代	/	2016年10月11日	2016年10月11日	早期顕症梅毒Ⅰ期	RPRカードテスト TPHA法	硬性下疳 バラ疹	異性間性的接触	
女	20代	/	2016年10月3日	2016年10月7日	無症候性キャリア	自動化法 TPHA法	/	異性間性的接触	
男	50代	/	2016年8月9日	2016年8月16日	早期顕症梅毒Ⅰ期	ガラス法 TPHA法	初期硬結	不明	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
ノロウイルスGII	便	西	4歳3ヶ月歳女児(10/2採取、発熱あり、感染性胃腸炎)

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



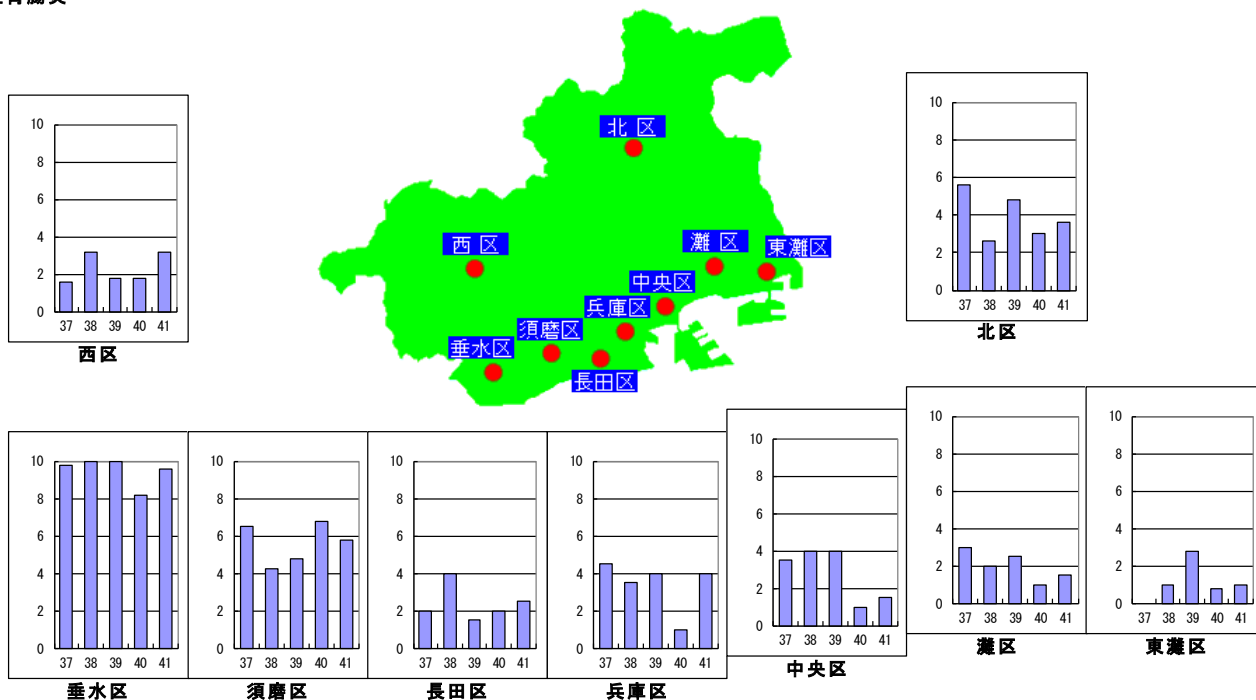
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 37 週 平成28年9月12日

～

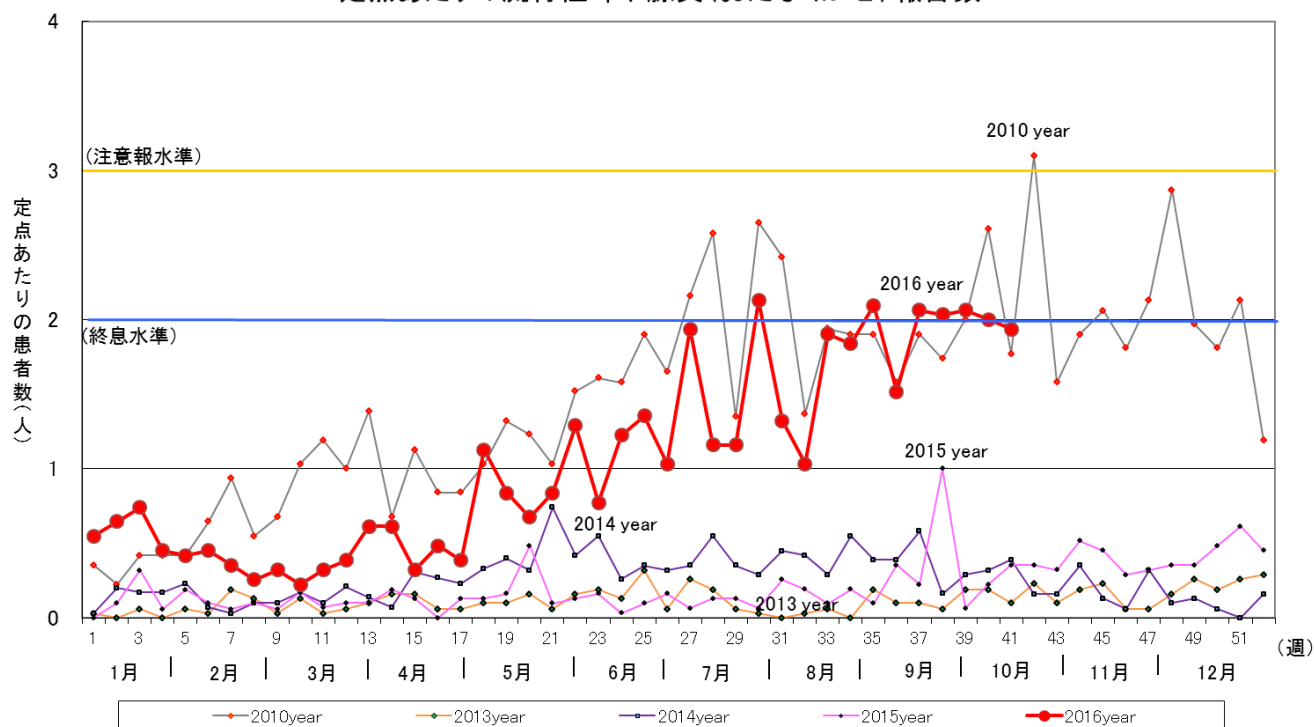
第 41 週 平成28年10月16日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)報告数



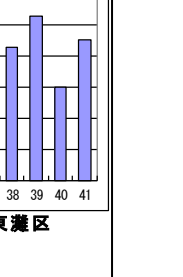
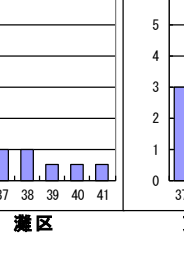
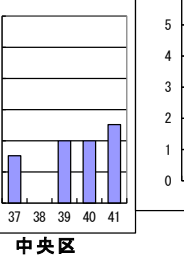
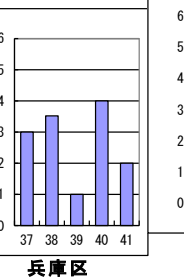
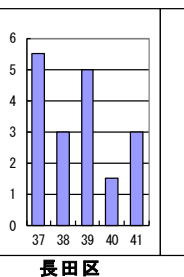
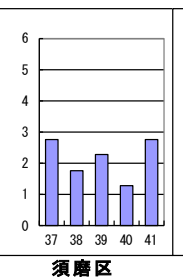
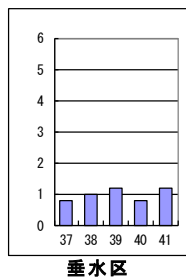
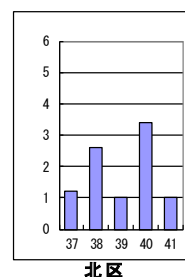
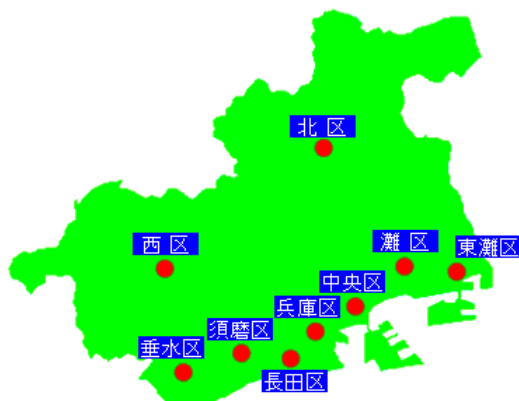
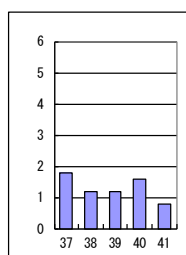
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 37 週 平成28年9月12日

～

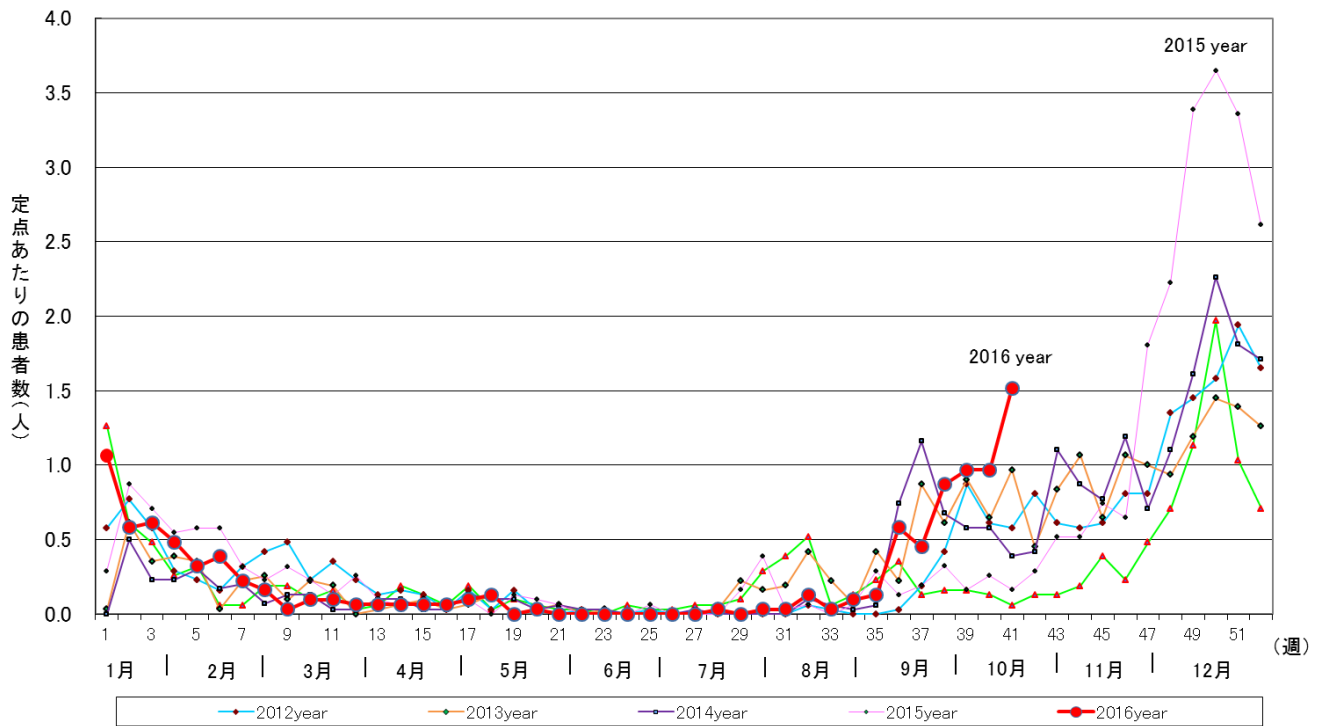
第 41 週 平成28年10月16日

流行性耳下腺炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりのRSウイルス感染症報告数



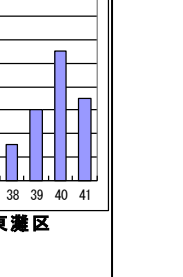
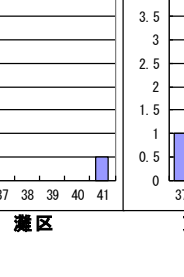
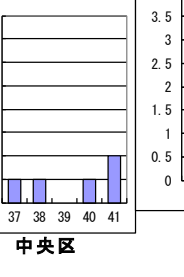
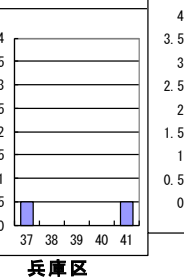
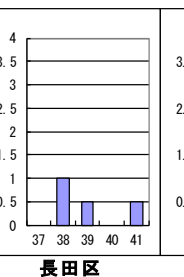
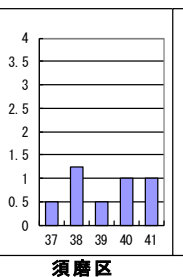
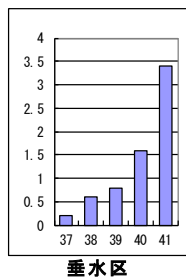
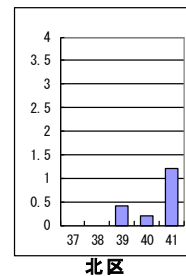
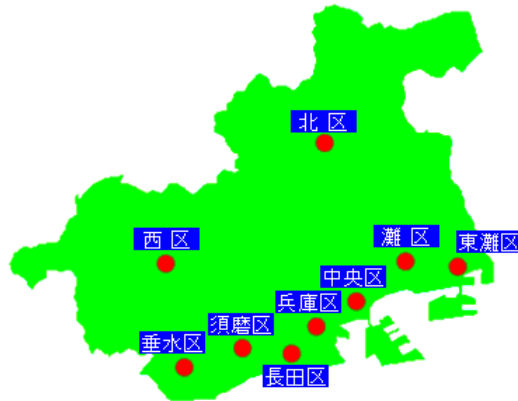
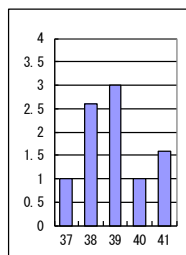
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 37 週 平成28年9月12日

～

第 41 週 平成28年10月16日

RSウイルス感染症



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。